

高齢者と若者の 「共住」を考える シンポジウム



高齢者になったらだれでも一人暮らし、大学に入学したらワンルームに気ままな一人暮らし……。そんな「一人暮らし」を乗り越えて若者と高齢者が一緒に住むという選択肢はないのでしょうか。

私たちは世代を超えた「共住(ともずみ)」の可能性を探ります。

また、今年度から京都府が取り組む次世代下宿「京都ソリデール」事業は、高齢者と若者の同居・交流による若者の定住促進等の取組みとして、京都府と事業者が連携して実施している事業です。同じよう

な取組みは欧州で始まり、フランスでは、パリのボランティア団体「パリソリデール」などが、お年寄りが若者に自宅の一室を低家賃で提供する代わりに、若者はお年寄りの心の支えになるような同居について、マッチングを実施しています。

本シンポジウムは、「京都ソリデール」事業の一環として広く市民の参加を呼びかけ、本事業の意義や目的について知ってもらうことも目指しています。

*ソリデール:フランス語で「連帯の」という意味

と き: **11月28日** (月) 午後2時～4時

ところ: **佛教大学 1-404教室**

(紫野キャンパス1号館4階) 北区紫野北花ノ坊町96
●市バス「佛教大学前」下車 徒歩3分

【主催】京都高齢者生活協同組合くらしコープ

【後援】佛教大学

※本シンポジウムは、京都府平成28年度次世代下宿「京都ソリデール」事業の一環として行うものです。

すでに先行している異世代同居の実践を学びながら、現在進行している京都ソリデール事業の実際を報告して、高齢者・若者の意見交流をおこないます。

- 福井大学住環境計画研究室 (菊地吉信研究室) スタッフ
- 上野勝代さん (京都府立大学名誉教授)
- 京都ソリデール事業についての説明 (京都府)
- 京都高齢者生協の組合員のみなさん